

小田野沢地区で夜間津波避難訓練を実施

3月7日午前0時、小田野沢地区において夜間津波避難訓練を行いました。青森県東方沖を震源とする地震による巨大津波が発生したとの想定で自主防災組織、消防団、事業所、約80名と畑中村長、役場職員、東通消防署員が参加し、避難施設であるそでやま館へ徒歩や車による避難を行い、浸水エリア外までの避難に要した時間、そでやま館までの経路、冬季の夜間に起こり得る課題を確認しました。

今回の訓練結果や課題をふまえ、地域防災や防災行政の取り組みに反映していきます。



避難する村長



避難する小田野沢地区住民



自主防災組織による避難者受付



非常時持出袋を持って避難



避難訓練参加者による訓練後の振り返り



訓練を振り返る自主防災組織川村会長